

令和3年度雄武浄化センターの一般開放イベントの中止について

例年、「下水道の日」にあわせて9月最終日曜日に開催している雄武浄化センターの一般開放イベントにつきまして、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から本年度の開催を中止とさせていただきますをお知らせします。

また、イベント時に無料配布をしていました汚泥発酵肥料「おうむ一号」についても本年度は配布しないこととさせていただきますお知らせします。

上下水道課下水道係

消防演習中止のお知らせ

令和3年度雄武消防団連合消防演習は、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない状況を踏まえ、開催に向け慎重に検討を重ねてきましたが、新型コロナウイルス感染症が新たな局面を迎え、予見が難しい状況となっております。感染リスクを完全に排除できないという観点から、参加者・関係者の健康面と安全面を最優先すべきであると判断し中止としましたので、お知らせいたします。

雄武支署・消防団

秋のヒグマ注意特別期間

9月4日(土)から10月31日(日)までは、秋のヒグマ注意特別期間です。今年もヒグマの出没や目撃情報が寄せられており、山菜採りや釣りなどで野山に入るときは、個人で充分な心構えをすることも、遭遇事故を防ぐため、次のことに注意してください。

- ・ヒグマと遭遇しないために
- ・事前にヒグマの出没情報を確認しましょう。(町ホームページ上で公表しています)
- ・野山では、集団で行動して鈴の携行や笛を吹くなど、人の存在をヒグマに知らせる工夫をしましょう。
- ・ヒグマは動物の死骸も食べるため、死骸を見つけたら、近寄らず、速やかにその場から離れましょう。
- ・ヒグマと遭遇した場合
- ・走って逃げたり大声を出したりすると、ヒグマを興奮させてしまい大変危険です。こちらに気づいていないようであれば、その場から静かに立ち去りましょう。
- ・距離が近い場合は、ヒグマから視線をそらさず、動きを見ながら、ゆっくりと後退しましょう。
- ・子グマに遭遇した場合は、親グマが近くにいることがありますので驚かさないう、速やかにその場から離れましょう。
- ・万が一ヒグマが向かってきたら、服や持ち物をその場に置いて、ヒグマの気を引くことも効果的です。
- ・ヒグマと遭遇した場合、クマ撃退スプレーも有効です。

「UHB 地デジ広報」サービスについて

昨年11月から町では、新たな情報発信の手段として、テレビで町からのお知らせをご覧いただける「地デジ広報」サービスを活用しています。

「地デジ広報」とは、UHB北海道文化放送が提供している地上デジタル放送を使った自治体情報提供サービスです。

普段、パソコンやスマートフォンを利用しない人も、テレビでお住いの市町村からの情報を確認することができ、リモコンの「dボタン」を使った簡単な操作でご覧いただけます。

※掲載できる文字数に制限があるため、概要のみの掲載となる場合がありますので、広報おうむ町のホームページをあわせてご利用ください。

◎利用方法

1. UHB チャンネル (8チャンネル) を選ぶ
2. リモコンの「d」ボタンを押す
3. リモコンの「黄色ボタン」を推す
4. 「オホーツク振興局管内」を選び、「雄武町」を選択 (一度選択すると次回から雄武町が表示されます)
5. 上下のボタンで見たい記事を選ぶ

地デジ広報
～市町村情報～
〇〇市からのお知らせ
新型コロナウイルス感染症について
市立小中学校の臨時休業について
臨時休業中の子どもの緊急的な受
市有施設の休館について
その他の地域をみる
地デジ広報ページについて
UHBメニュートップへ

毎月～金曜 3:50 放送

新型コロナウイルス感染症について
2020/03/09 09:10
新型コロナウイルス感染症は、発熱やのどの痛み、長引く咳、強いだるさなどの症状が特徴です。
石けんで指先や手首まで丁寧に手を洗い、マスク、ティッシュなどで口・鼻を覆う「咳エチケット」に取り組みましょう。

問総務課情報統計係

道有林への入林自粛

エゾシカ狩猟期間中(地域によって異なりますが、多くの地域は10月1日(金)から3月31日(木)まで)は、多くの狩猟者が道有林へ入林します。狩猟に伴う事故防止のため、この期間は可猟区域への入林を控えていただくようお願いいたします。

なお、開放林道に設定している林道周辺については、狩猟規制区域内に設定するため入林可能となりますが、その際は北海道森林管理局のホームページで再度図面を確認するようにしてください。

北海道森林管理局ホームページ
https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/

エゾシカによる森林等被害を低減するため、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

北海道水産林務部森林環境局道有林課道有林管理係
☎ 011・204・5519

「地域住民と創る道有林」への参加者募集

オホーツク総合振興局西部森林室では、地域と連携した森林づくりを推進するため、森林の整備状況や取り組みを地域住民の皆さんに説明し、ご意見やご要望をいただき、今後の森林整備等に反映するための「地域住民と創る道有林」を開催し

ます。

開催日時 9月10日(金) 13時～16時
開催場所 興部町字興部708
オホーツク総合振興局西部森林室 会議室

※バスで西興部村に移動し、道有林での現地説明も予定されています。

参加対象 雄武町、興部町、西興部村在住で森林に関心がある人

申込先 参加を希望する人は、9月8日(水)までに、次の連絡先に電話またはFAXをお願いします。

問オホーツク総合振興局西部森林室
電話 0158・82・2221
FAX 0158・82・2160

みどりの食料システム戦略

農林水産省では、令和3年5月に、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を策定しました。詳しくは農林水産省ホームページをご覧ください。

農林水産省ホームページ
https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyoseisaku/midori/index.html

問農林水産省北海道農政事務所企画調整室
☎ 011・330・8801



《シリーズ》ごみの出し方Q&A

「環境衛生係が「ごみの分け方・出し方」について、よくある質問について答えます。」

質問1 骨箱や骨壺は、どのように処分すればいいですか？

回答1 骨箱は燃やせるごみとして、骨壺は燃やせないごみとして搬出することができます。しかし、ごみステーションに搬出することに抵抗がある場合は、環境衛生係までご連絡ください。

質問2 なぜ、鉄くずや木くずなど資源ごみの分別は種類が多いのですか？

回答2 町では、最終処分場の延命化を推進しています。分別されたごみの一部は、破碎処理や業者に引き取ってもらっています。適切にごみを分別し処理することによって、最



終処分場の延命化につながりますので適切な分別にご協力願います。

質問3 プラスチックごみはどのように処理されているのですか？

回答3 発砲スチロールやお弁当などの容器で使用されているプラスチックごみは、紋別リサイクルセンターで処理されています。お弁当の容器などは水洗いすることでプラスチックごみとして搬出することができます。なるべく水洗いをして、プラスチックごみとして搬出していただけるようご協力願います。



ごみに対する質問や意見などがある場合は、環境衛生係までお気軽にお問い合わせください。

ごみの削減は、皆さんのご協力が必要不可欠です。ごみの適切な分別をお願いします。



問住民生活課環境衛生係